

2019年10月17日

矢崎総業株式会社

「第46回東京モーターショー2019」に出展

矢崎総業株式会社(本社：東京都港区、社長：矢崎 信二)は、10月24日(木)～11月4日(月・祝)に東京ビッグサイト(江東区・有明)で開催される「第46回東京モーターショー2019」に出展します。

当社の展示コンセプトは、「新たなモビリティ社会に向けた挑戦」です。当社は、今回の東京モーターショーを、自動車業界が直面している大変革に対し、当社自身が大きく変化し、未来のモビリティ社会の社会課題の解決に向けた、大きな挑戦の第一歩と位置付けます。

未来につながる現在の技術とともに、新しいモビリティ社会に貢献できる当社の技術やサービスを映像で表現します。当社の強みであるクルマの中をつなぐワイヤーハーネスと、クルマと人をつなぐ「見守りシステム」と「統合コックピットコンセプト」(共に世界初公開)、さらに、クルマと社会をつなぐデータソリューションを紹介します。

【主な展示内容】

1) EEDDS(Electrical / Electronic Distribution & Display System) – 車両モックアップ

自動運転可能な電動車に、高効率で安全な電源システムと、セキュリティが確保された高速通信システムを搭載し、便利で多様なサービスを実現するキャビンに対応可能な電源・通信インフラシステムを車両モックアップで提案します。

2) 見守りシステム

自動運転レベル4以降のライドシェアカーにおいて、乗客の挙動をカメラで解析することで、乗客に安全・安心を、さらに運行管理者に負担軽減を提供する「見守りシステム」を提案します。

3) HMI(Human Machine Interface)

・統合コックピットコンセプト

誰もが理解しやすい表示を実現する技術を用いて、手動運転と自動運転での利便性と安全性の両立を目指して開発している「統合制御ユニット」と「ドライバーモニター」を搭載した、「統合コックピットコンセプト」を提案します。

・メーター

優れた視認性によりドライバーの安全に貢献するメーター、金属調加飾技術を活かした上質なデザインメーターなど各種メーターを展示します。

4) データソリューション

矢崎のタクシーメーターやデジタルタコグラフなどの製品を搭載した商用車から得られるビッグデータを解析・活用し、物流業務の効率化とドライバーの安全運転支援に貢献するサービスを提案します。

【プレスブリーフィングのご案内】

当社のプレスブリーフィングを以下のとおり実施します。是非、ご来場ください。

- 1) 日時：10月24日(木) 9:00～9:15
- 2) ブース位置：東京ビッグサイト 西展示ホール4階 小間番号 W4108
- 3) 登壇者：代表取締役社長 矢崎 信二

【ブースイメージ】



本件に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社

広報部

Tel. 055-965-3002